

2011年10月28日

## プレスリリース

新収蔵作品 猪熊弦一郎作 壁画《都市流動》の  
丸亀初公開について

### 【お問い合わせ及び資料のご請求先】

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
公益財団法人ミモカ美術振興財団  
担当：古野華奈子  
〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1  
tel:0877-24-7755/fax:0877-24-7766  
e-mail:mimoca\_info@mimoca.org

## 新収蔵作品 猪熊弦一郎作 壁画《都市流動》の丸亀初公開

### 【概要】

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、このたび、猪熊弦一郎作品として壁画《都市流動》（1969年）を新しく収蔵し、丸亀で初めて公開することとなりました。

壁画《都市流動》は、京都の旧ホテルフジタ京都（1970年2月開業、2011年1月閉館）に設置されていたものです。このたびホテルの建物が解体されるにあたり、ホテルの所有者より丸亀市に寄贈されました。

40年を経て、京都から丸亀へ里帰りとなったこの壁画を、**11月23日（水・祝）開催の当美術館開館20周年記念イベント「祝20祭」にて公開**いたします。長い年月による損傷もございますが、まずはそのままの姿でのお披露目となります。

公開日時：2011年11月23日（水・祝） 10:00～18:00

＊開館20周年記念「祝20祭 これからもミモカをよろしく」開催日

公開場所：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館2階 展示室B

観覧料：無料

### 【壁画について】

作家名：猪熊弦一郎（1902－1993年、香川県出身）

タイトル：《都市流動》

制作年：1969年

材質：スチール（クロムメッキ）、アクリル、他

サイズ：高さ2.9m×幅1.47mのパーツ10枚の組み合わせ（全長14.7m）

寄贈日：2011年9月8日

寄贈者：積水ハウス株式会社

寄贈先：丸亀市産業文化部文化観光課（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館）

**公開に先立ちまして、プレス関係者の方々の壁画撮影取材を承ります。展示作業は11月12日（午後を予定、時間が前後する可能性あり）、設置完了後の壁画全体像は11月13日から11月20日まで撮影できます。**ただし、この期間、美術館は休館中で、館内では展示替え作業や施設改修工事等行っておりますため、作業現場内で撮影していただくことになりますこと、あらかじめご了承ください。また作業の都合で現場に入れないこともございますので、必ずご来館の前に担当（Tel.0877-24-7755 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 古野）までお知らせください。

## 【猪熊弦一郎略歴】

- 1902 香川県高松市生まれ。少年時代を香川県で過ごす。
- 1921 旧制丸亀中学校（現 香川県立丸亀高等学校）卒業。
- 1922 東京美術学校（現 東京藝術大学）に進学。藤島武二教室で学ぶ。
- 1926 帝国美術院第7回美術展覧会に初入選。以後、第10回、第14回で特選となるなど、1934年まで主に帝展を舞台に活躍する。
- 1936 志を同じくする伊勢正義、内田巖、小磯良平、佐藤敬、三田康、中西利雄、脇田和、鈴木誠と新制作派協会（現 新制作協会）を結成。以後、発表の舞台とする。
- 1938 フランスに游学（1940年まで）。アンリ・マティスに学ぶ。
- 1948 『小説新潮』の表紙絵を描く（1987年まで）。
- 1950 三越の包装紙「華ひらく」をデザインする。
- 1951 国鉄上野駅（現 JR 東日本上野駅）の大壁画《自由》を制作。
- 1955 再度パリでの勉強を目指し日本を発つが、途中滞在したニューヨークに惹かれそのまま留まることとし、約20年間同地で制作する。
- 1973 日本に一時帰国中、病に倒れる。
- 1975 ニューヨークのアトリエを引き払う。その後、冬の間をハワイで、その他の季節は東京で制作するようになる。
- 1989 丸亀市へ作品1000点を寄贈。
- 1991 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。
- 1992 所有するすべての作品などを丸亀市に寄贈する趣旨の文書提出。  
以降、順次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館に搬入。
- 1993 東京にて死去。90歳。